

Cheers

チアーズカラットしが アットホーム

CARATShiga!

@Home

職場で働く女性を
家庭から応援!

働く女性を支えるすべての方へ

大切なひとのために、
あなたにできること

知っていますか?

職場で輝くママの姿

女性が、仕事も!子育ても!

楽しむためにタイセツなこと

働くママを全力で応援中!

チアーズ家族インタビュー!

女性が自分らしく働ける社会へ

あなた

実現のカギは家族の応援!

わたしの可能性がもっと広がる社会へ。



女性の活躍を家庭から応援！

女性が働き続けられる社会へ

「仕事も家庭も大切に、充実した人生を送りたい」そんな願いを持っている人はたくさんおられると思います。しかし現実には、「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識がまだ根強く残っており、女性は家庭において男性より大きな役割を背負うことが多いことから、結婚、出産などのライフイベントを機に仕事を諦めざるを得ないことも多いのが現状です。

しかし、少子高齢化が進む現代において、女性の力は社会の活性化にはなくてはならないものです。2015年にはいわゆる女性活躍推進法が成立し、女性が働きやすい職場づくりに取り組む企業が増えてきています。

また、やりがいのある仕事がある、自分の能力が認められているという実感は、女性自身にとっても大切な生きがいとなります。女性の活躍は、社会にとっても女性個人にとっても重要なテーマなのです。



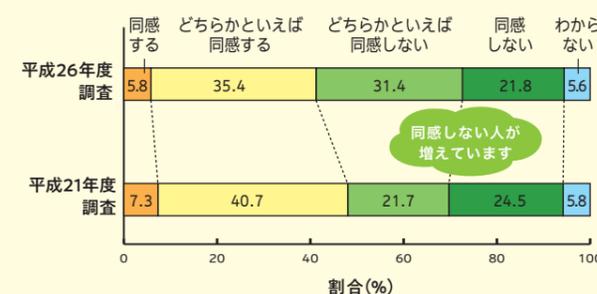
家族の理解と協力が必須！

では、女性が自らの個性や能力を活かし、家庭も大切にしながら働き続けるためには何が必要なのでしょう。社会や職場での支援の充実はもちろん大切ですが、家族の理解や協力も欠かせません。特に女性の負担が大きくなりがちな家事・育児の役割を家族で分担することは必須といえます。

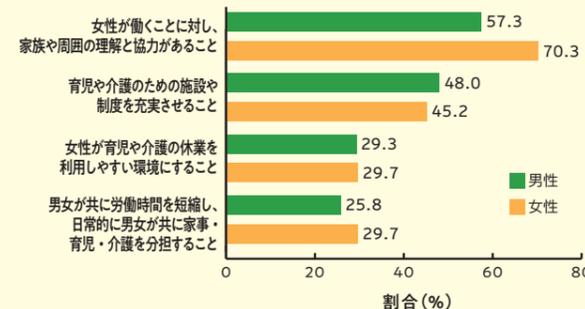
そしてなにより重要なのは、「家庭での役割は女性だけが負うものではなく、夫婦や家族で分担するものであり、そのために女性が自分の仕事やキャリアを諦める必要はない」ということを周囲が理解し、女性の職場での活躍を笑顔で応援することなのです。

働く女性の現状

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について



女性が仕事を続けるために必要なこと(上位4項目)



根強く残る性別による固定的な役割分担意識

平成21年度調査より減少しているものの、まだ4割の人が「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識を持っていることがわかります。こうした意識は、女性の職場での活躍を阻害する要因となります。

周囲の理解と協力が何より大切！

女性が仕事を続けるために必要なことを聞いてみると、7割の女性が「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」を上げています。



仕事と家庭の両立。
 続けてこられた
 みんなに支えられて



株式会社三東工業社
 経理部
 中山田 歩さん



[中山田 歩さん(写真左)] 滋賀県野洲市在住。
 21歳、18歳、16歳の3人の子もを持つお母さん。出産後数年間は契約社員として数社で勤務するも「長く働ける職場を」との思いから、正社員として株式会社三東工業社に入社して14年目。



とにかく無我夢中だった新米ママ時代

子ども達が生まれてからは、仕事・家事・育児とあっという間に1年過ぎ、2年過ぎ…とにかく毎日が無我夢中でした。平日は忙しい分、週末は家族で過ごす決めて、日曜日の夕食はいつも夫が私の好きなものを作ってくれました。

職場では子どもの夏休みで出社が遅れることを相談すると、制度としてはまだなかった時差勤務を取り入れてくれたり、子連れでの出社を認めてくれたり。悩んでいることを話すと必ず相談に乗ってもらえたのがとてもありがたく、自分自身も「頑張ってるぞ」と思うことができました。

社会や人とのつながりが大事!

子どもが小さいうちは家にこもりがちになりますが、地域の子育てサロンやイベントに参加し、近くに住む方とのつながりができました。おかげで前もって周りの方に「何かあったらお願いしますかも」と伝えておくことで子どもが急病の時も頼ることができました。多くの方の支えによって、孤独を感じることなく子育てを頑張ることができたのだと思います。



働きやすい職場があるから、家事も育児も頑張れる。

[泉 玲奈さん] 滋賀県野洲市在住。
 歯の治療に使われる接着材などを開発・販売するサンメディカル株式会社で、製品の製造販売に関連する認可を受けるための申請業務を行う。家庭では4歳と1歳の男の子を育てるお母さんで、時差・在宅勤務を併用中。



サンメディカル株式会社
 薬事部
 泉 玲奈さん

復帰しやすい環境が嬉しい

産休と育休を取得して、子どもが10ヶ月の時に復帰しました。職場の半分以上が女性ということもあり、産休・育休を取得して復帰するのが当たり前になっていて「いつ帰ってくるの? 待ってるよ」と声をかけてもらえたのは非常にありがたかったです。

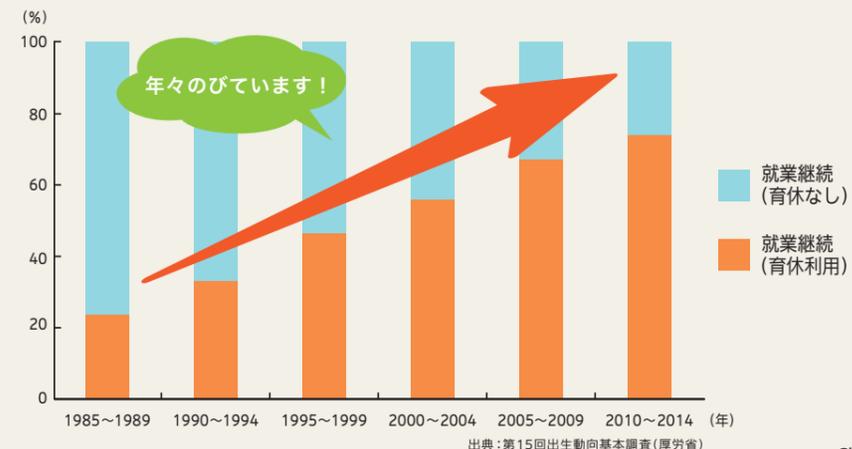
今は朝8時から夕方4時半までの時差勤務と月4回の在宅勤務を利用しています。会議は必ず4時半までに終わるようにしてもらえるなど、職場の理解と協力もあって時差勤務でも働きやすく、在宅勤務の日は通勤にかかる時間を家事や他の用事に使えるので助かっています。

仕事を続けることでメリハリが生まれる

仕事を続けていて良かったと思うし、これからも続けていきたいです。仕事のストレスは家で、家のストレスは仕事で発散でき、メリハリが生まれます。私は朝早く出勤するので保育園に子どもを送るのは夫、お迎えやお風呂は私という風に分担しています。仕事と家庭の両方があることで、自分の世界が広がることはとても良いことだと思っています。



子どもが生まれてからも働き続けている女性のうち、育児休業を活用している人の割合は年々増えていることがわかります。



第一子出産後に就業を継続した女性のうち、育児休業を取得した割合



女性が輝く社会へ

3者の視点から考える

COMPANY DATA

株式会社シンコーメタリコン

滋賀県湖南市吉永405

TEL.0748-72-3311

<http://www.shinco-metalicon.co.jp>



子育てと仕事の両立を目指す女性社員

宮路 和代さん
営業事務課で営業職のサポートと来客対応を担当する入社6年目。1年間の産休・育休期間を経て2018年11月に復帰。12月で1歳になった子ども、夫、両親との5人暮らし。

月に1回は赤ちゃんと出社!

当社には「育休面談」という制度があって、育休期間中に月に1回赤ちゃんと一緒に出社するんです。最初は毎月1回職場に出向くなんて面倒かなと思っていたのですが、やってみるとすごく良い気分転換になりました。まだ会話のできない子どもと毎日向き合っているとストレスがたまってしまいう中、外の空気を吸って慣れ親しんだ職場の仲間と話ができるこの時間がすごく楽しみでした。

また、育休から復帰している先輩女性がたくさんおられ、あたりまえに復帰ができる雰囲気だったので、復帰への不安はありませんでした。現在は時短勤務をしているので、効率よく時間を使うために120%の力で頑張っています!



女性社員の上司イクボス

玉置 千春さん
入社26年目。総務部、営業事務課での仕事を経て、現在は営業事務課の課長と広報部の部長を兼任する。2019年に社内初の女性取締役に就任。

風通しのよい職場づくりが大切。



働きやすい職場であるために、社員同士でこまめにコミュニケーションを取るようにしています。育休面談もその一つで、育休中の女性にとって今会社で起こっている出来事を知ったり、先輩社員から育児のアドバイスをもらったりすることで、職場復帰への不安を解消するいい機会になっていると思います。また、成長していく赤ちゃんの顔を毎月見ることで、まるで親戚の子どものように思えてきて、職場に復帰した女性社員の仕事と子育ての両立を職場全体で応援する雰囲気が自然にできています。

一方で誰かの育休中は、職場に残っている社員の仕事量がどうしても増えるので、「これは誰々に任せよう」「これは明日でいいよ」と声を掛け合い、負担が偏らないように心掛けています。



女性活躍に積極的に取り組む企業のトップ

立石 豊さん
85年に株式会社シンコーメタリコンに入社し、94年に33歳で社長に就任。以来、自身のひらめきで数々のユニークな制度を導入し、社員全員が働きやすい職場づくりを目指す。

独自の制度で女性の活躍を応援!

当社には、育休中の社員が子どもと一緒に出社する「育休面談」をはじめ、「ドリームセブン」、「イクメンファイブ」など、様々な独自制度があります。これらの制度は、私がトップダウンで推し進め、導入したのですが、実際に制度を利用する社員の意見を取り入れながら、よりよい制度になるよう日々改善するようにしています。



女性が持つ能力は計り知れません。任せた仕事を積極的に進めてくれる中で「こんなこと男性では気づけなかった」「こんな風に工夫すれば上手くできるんだ」と思うことが本当に多い。次にどんなアイデアが出てくるのか、いつも楽しみにしています。



株式会社シンコーメタリコン

女性の活躍を支援する、独自の制度について

●育休面談

育休中の女性社員が月に1回1時間程度、赤ちゃんと一緒に出社することができる制度。職場とのコミュニケーションを取り続けることで、職場復帰しやすい雰囲気づくりに役立っている。

●ドリームセブン

社員全員が1年に1回、必ず7日間の連続休暇を取得する制度。社員からは「家族と過ごす時間が増えた」「若手に仕事を引き継ぐ良いきっかけになっている」と好評。

●イクメンファイブ

子どもが生まれた男性社員が5日間の連続休暇を取得できる制度。取得時期は各自の希望に合わせて「生まれてすぐ」「退院したら」など4パターンから選択できる。

チアーズ家族 インタビュー 01

株式会社
コクヨ工業滋賀



[大西さんファミリー]
滋賀県彦根市在住。
彩希さん(旧姓田井中)※会社では旧姓使用、亮久さん、4歳の和暁くんの3人家族。夫婦ともに株式会社コクヨ工業滋賀に勤務し、彩希さんは従業員の健康管理や工場見学の広報、亮久さんは工場設備の維持管理を担当。



時差勤務を上手に活用。家族の協力に感謝!

彩希さん 育休から復帰した当時は時短勤務だったので、仕事が途中で無理やり帰るのが自分のスタイルに合わなくてストレスを感じていました。時差勤務を利用して、早く来て早く帰るようにしたら仕事も家庭も上手く両立できるようになりました。

亮久さん 当初は朝2人してバタバタと準備して、8時半に会社という生活でしたが、今は妻が1時間早く家を出るので、子どもの着替えをし、朝ごはんを食べさせて送って行くのは私の担当です。

彩希さん 朝のうちに集中して仕事をして、早く退社することで、子どもを待たせることもなくお迎えに行けます。子どもと一緒にいられる時間も増え、すごく働きやすくなりました。

亮久さん それぞれが自分のペースで家事や子育てに関われるこの形が私達に合っていると思います。お互い正社員で働いているので、家事を半分やるのは普通のこと。妻には好きな仕事を頑張ってもらいたいです。

パパの力があってこそ!

朝、夫に全部任せて家を出られるのは本当にありがたいです。私の勤務形態が変えられたのも、家族の理解があってこそ。どんなことも、しっかり話し合うことが大切だと思います。



彩希さんのとある1日をご紹介します!

起床、朝食と身支度
朝食の準備を済ませ、子どもが起きたら少し相手をして出発。
AM5:30

時差勤務で1時間早く出社し、1時間早く退社!

退社、保育園のお迎え
お迎え後は亮久さんの実家へ。夕食までの時間を子どもと過ごす。
PM4:30

子どもと一緒に就寝
自宅に帰ってお風呂、洗濯、明日の用意を済ませて就寝。
PM9:30

出社、仕事に集中
まずはメールをチェック。誰もいない1時間で集中して仕事を進める。
AM7:30

家族そろって夕食
亮久さんも合流して、みんなそろっての夕食。
PM7:00

葉子さんのとある1日をご紹介します!

起床、準備をして出発
朝食後、子どもを送り出して片付けを終えたら8時過ぎには出発。
AM6:30

退社、子どもと一緒に帰宅
塾に通う子どもを迎えに行き、7時過ぎに帰宅。夕食の準備。
PM6:15

就寝
家事を済ませたり家族との時間を過ごしたりして、11時には就寝。
PM11:00

出社、業務開始
会社に到着。フィルム研究所の技術職として実験などを行う。
AM8:45

夕食、お風呂
仕事の予定が合った日は、修平さんもそろって家族3人で夕食。
PM8:00

家族の理解があるから、夢だった仕事を続けられる。

葉子さん 中学生の頃から研究者になるのが夢で、それが叶って今の仕事につきました。出産後はあまり休むと研究について行けなくなる心配もあり、6ヶ月で職場に復帰しました。

修平さん もともと「子どもが生まれても仕事は続けて、早めに復帰したい」という話はしていたので、自然な流れでした。

葉子さん 夫の仕事は毎月のシフトで決めているので、子どものお迎えなどもシフトを作るタイミングで「この日は出張だからお願いできる?」とやりとりをして予定を決めています。家事も常にできる方がやるようにして、うまく分担しています。

修平さん 妻も仕事を続けることでいきいきして

いるし、仕事と家のことを両立して頑張っている姿はすごいな、といつも思っています。

葉子さん 夫の力がないと絶対に無理でした。私の仕事を理解してくれるので、すごく助かっています。

寄り添ってくれる嬉しさ

夫が家事も育児も、こちらが何も言わなくてもやるという姿勢でいてくれることがうれしかったです。寄り添ってくれる感じがして、辛い時もあったけれど「ひとりじゃない」と思えました。



チアーズ家族 インタビュー 02

東レ株式会社



[若原さんファミリー]
滋賀県大津市在住。
東レ株式会社でフィルムの研究開発を行う葉子さん、介護関係の仕事をする修平さん、小学4年生の直汰郎くんの3人家族。夫婦ともに九州出身で、結婚を機に滋賀県へ。

